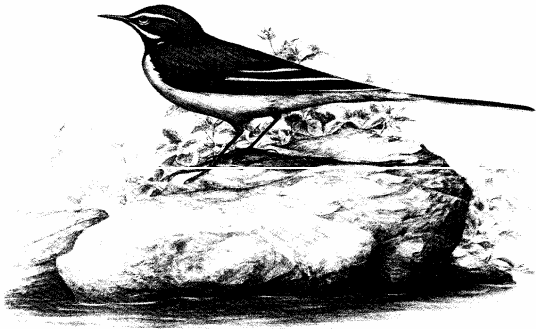


2004 . 3 No. 8

# いしたたき



## ー イシタタキ ー

この鳥は主に河川周辺に棲んでいて、いつも尻尾を上下に振るので「イシタタキ」と呼ばれるのです。正確には、セキレイ科の鳥です。日田では普通、ハクセキレイ・セグロセキレイ・キセキレイの3種類が見られます。それぞれ、体の色で区別しています。このうち市内で周年見られるのはセグロセキレイとキセキレイですので、「イシタタキ」とは、この2種類をさすことばです。

## 台霧の瀬づくりプロジェクト

NPO ひた水環境ネットワークセンター 諫山 司

「三隈川にみんなでせせらぎを創って遊ぼうえ!」のスローガンのもと、台霧の瀬づくりプロジェクトが発足しました。概要は、国道212号バイパス、中ノ島から上野に渡る台霧大橋の下の現在河川敷広場になっている場所を国から借り受け、地元小学生や住民、日田林工高校の生徒、川に関わる団体、グループが中心になって、多くの日田市民と共に、遊べる・くつろげる・学べる・癒せる、約200mほどの川辺空間を自分たちで、自分たち

が思うように造っていこうというプロジェクトです。粗堀を3月いっぱい稚鮎の放流時期までに済ませ、梅雨の洪水で川自身に川を造らせた後、飛び石、瀬、よどみなどを造り8月にはオープンしたいと考えています。

日田のシンボリックな存在である三隈川は、かつて水運を利用した木材産業の中心であり、たくさんの市民が集う憩いの場でした。もちろん、現在でもその意識は市民の心の中にあり、川開きの花火大会から、夏・秋にかけて、



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



竹田公園、亀山公園、中ノ島にかけて、多くの人でにぎあいます。そんな三隈川流域にある台霧大橋下の河川敷は、堤防道路からのなだらかなスロープと散歩道だけは整備され、車椅子での散策やジョギングする人達がいつも見かけられます。また河川敷広場よりなだらかに接する水辺では四季折々に、鴨類やサギ類など多くの水鳥を見ることができますし、瀬では夏の夜になると、伝統漁法の手掴みで鮎を捕る「鮎押し」をする漁師さんを見ることができます。しかし、現在の河川敷広場の水辺は未整備で、木陰もなく、水辺には葦が生い茂って子供達が瀬に足をつけることも難しく、水辺からハエつりをすることもできません。そこで、人工的にはありますが、この河川敷広場を利用しまして、小学生から大人まで多くの市民参加の下、水遊び、川遊びのできるせせらぎ、くつろげる、楽しめる水辺空間を、自分たちで考え、自分たちで楽しみながら造っていくことを、このプロジェクトの目的にしました。

また、このプロジェクト遂行にあたって、下記の四つの瀬づくり基本コンセプトで行うことにしています。

#### ☆『みんなで創造する、夢のある空間とする』

小学生から大人まで、みんなが参加し、様々な夢をはなしながら、楽し

み、遊びながら創る、夢のある空間とする。

#### ☆『みんなが水辺に集える空間とする』

今の三隈川は水に接し、遊べる場所が減っている。そこで現在の河川敷の地形を生かし大人も子供も共に水辺に集い遊べる空間とする。

#### ☆『自然を体感できる空間とする』

瀬づくりは自然の状態に近いものであることを最優先し、使用する素材は自然のものを利用、植栽を行うにしても、現在の植生、日田の植生を十分配慮して行い、川遊び 魚取り、動植物観察など、自然を体感できる空間とする。

#### ☆『流域の特性を生かし、三隈川全体で連続性のある空間とする』

三隈川はそれぞれの場所でいろいろな姿を見せてくれる。固定関下流のこのポイントは、堤防道路の桜並木、対岸の河畔林から上野公園などのおもしろい景観がある。それらをふまえて、この場所にふさわしい空間とする。

以上のように、私自身とてもおもしろそうだったので、このプロジェクトに参加させていただいているわけですが、全国的にみてもまだ例のない先駆的な取り組みのようです。ぜひできるだけ多くの市民の方々のご意見、ご参加をお待ちしております。

お問い合わせは、この「いしたたき」



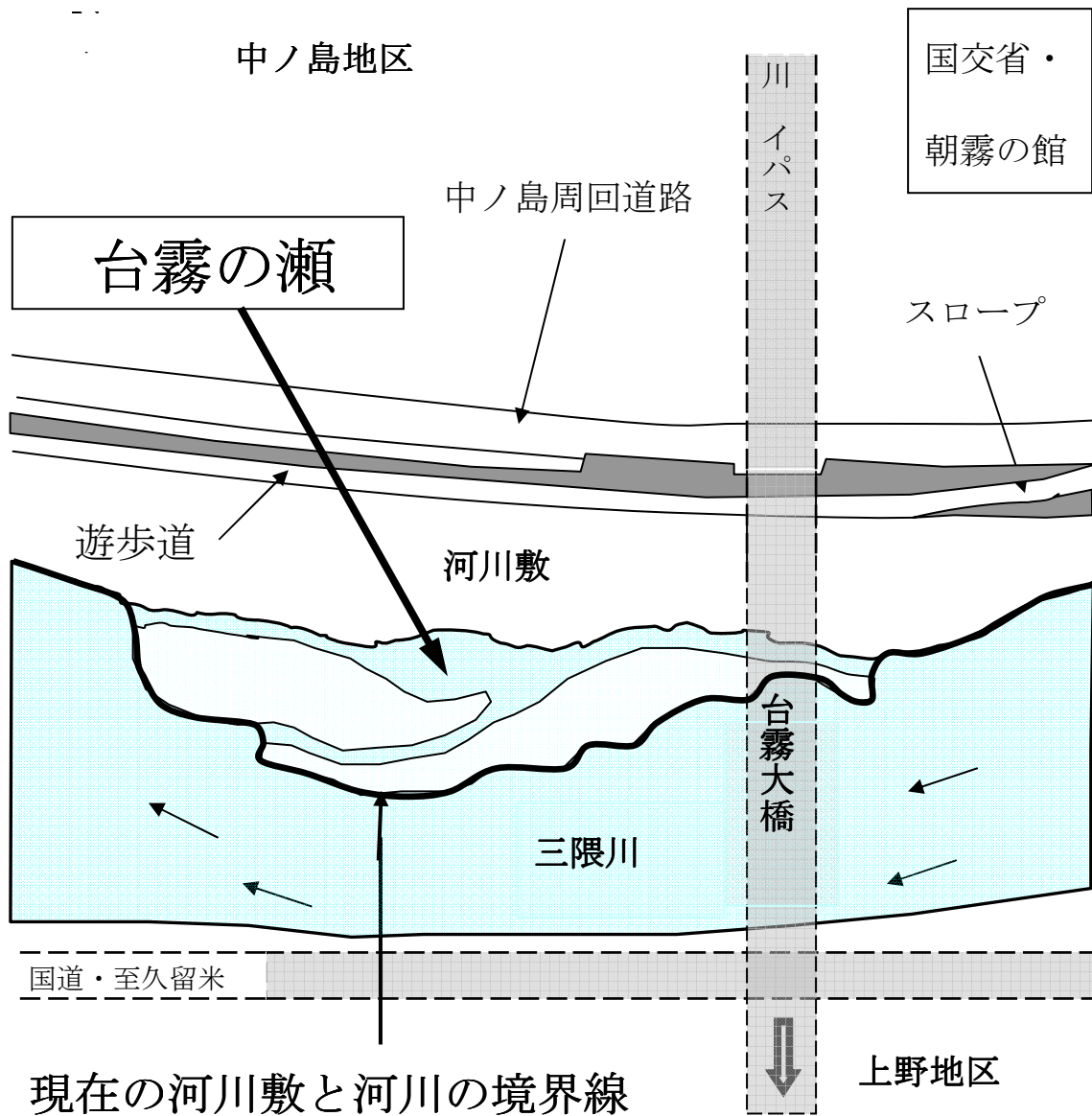
編集部・NPOひた水環境ネットワークセンターまで。



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



# 『台霧の瀬づくりプロジェクト』概要図



至サッポロビール



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



## 環境問題

## 日田盆地 竹の景色を見直そう

NPO ひた水環境ネットワークセンター 理事  
森林インストラクター 財津忠幸

日田盆地周辺の丘陵地に続く斜面の景色が年を追うごとに竹に変わりつつあります。かつては広葉樹林を主とする里山風景が、経済的価値の高い杉林に変わり、今では竹の勢いに押されてその混交林に変わってきました。

昔から、「地震の時は竹藪に逃げろ」という言い伝えがあるように、竹は、しっかりと斜面に広がり、根を基岩に食い込ませて地割れが起りにくく、土砂の崩壊を防ぎ人家を守って来ました。またその竹材は生活に欠かすことの出来ない必需品として植えられてきました。

家の藁屋根の上部、天井材、腰板などに、また、ショーケ、ザルなどの農用品、カゴや箸などの台所用品、ヤナ、ウケ籠などの川漁の材料として、きれいに縦に長く割れ、強固な性質を利用して生活の隅々まで使われてきました。また、タケノコは安くて大量に生産できる庶民の食料として多く販売されてきました。

そのような時代には、近くで簡単に入手できる里山の竹は大変重宝であり、毎年、大量に伐り出されることで、自然との調和もうまく適合していましたが、生活様式の変化から、竹製品もほとんど利用されなくなって、竹林も放置されるようになりました。

その結果、周囲の広葉樹林、杉林への侵攻が次第に勢いを増して、今では、多くの所で盆地の景色さえ変える広がりとなってしまいました。

竹は、一般の樹木と異なり、タケノコの時には数日で急激な伸長をし、1年でほぼ成長してしまいます。その原因は、樹木のように自分の根から養水分を吸収するのではなく、地下に張り巡らした地下茎が1家族のようにつながり、そのネットワーク全体の力を借りて成長できる仕組みにあります。

更には、その張り巡らした根の先端が非常な勢いで次々と周囲の杉林に進入し、拡げていきます。

竹林はその大変な量の根によって、土の養分を独り占めし、大量の葉っぱは落ちても腐りにくく、そのために通常の森林土壌とは異なって、保水力の出来にくい土となります。これまでは、杉の経済的価値も高く、管理する人もいて、毎年杉林に生えてくるタケノコを倒すなどしながら守られてきましたが、今ではそのような手入れをする人も少なくなり、竹の暴れ放題の里山に成りつつあります。

この竹林を絶やすには、全面的な伐採と、毎年生えてくるタケノコを完全に根気よく除去するしかありません。よく、



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。





花が咲いたら一斉に竹が枯れることから「花が咲けば滅びる」と思いがちですがそれは間違いです。花の咲いたその年の秋までに 30cm ほどの笹を生やして（回復笹）花を咲かせ、翌年青葉をつけた新たな竹となり、永遠に生き残り続けます。

この竹問題は、日田市環境基本計画に基づくワーキンググループ「水と森部会」でも環境問題として取り組むべき課題として提起されています。人家に直接災害をもたらす危険のある崖崩れ防止竹林は別として、蔓延し続ける竹林対策を立て

て、早急に広葉樹の里山林に転換することが望まれています。そのためには何よりも山林所有者の理解と協力を仰ぎ、同時に、そのことを推進するための施策も必要ではないでしょうか。

水と緑に恵まれて、風光明媚な日田の里と詠われました自然も、よくよく気をつけてみれば、水質も汚れ、水量も減り、里山の姿も変わって、質の落ちた味気ない盆地の景色と成っています。日田に暮らしているみんなで環境を考え、改善していくための努力を積み重ねることが大事ではないでしょうか。



写真 : 保存樹への侵攻が懸念される、  
岳林寺（日田市北友田）裏山視察のようす。



「水の森」森林環境体験と交流の館

**阿 蘇 望 塾 の建設に参加しませんか**

いよいよ「水の森」にみんなの家（阿蘇望塾）を作りましょう。  
出来上がったら、餅まきと落成式をやります。この楽しい体験に参加し、感動を味わってください。

「水の森」最大のイベントです。2日間になりますが、よろしくご協力ください。

**日程および作業内容****4月17日(土)**

日田市在住者現地スタッフ 8:30 「水の森」(千倉ダム) 現地集合  
参加可能な方は、是非とも前日作業からお願いします。 集合は、なるべく早く。

**作業内容** 棟上げを行います。

- ◆ 建築資材運搬のお手伝い。
- ◆ 骨組み、屋根までを何とか前日に建設を済ませたい。
- ◆ カナヅチ、ノコなどをお持ちの方は持参して下さい。(名前記入)
- ☆ 水筒などの飲み物を持参ください。 ※ 昼食は、準備します。
- ☆ 宿泊は、紫明庵(亀山町)を予定しています。

**4月18日(日)**

日田市在住者及び宿泊者 8:30 「水の森」(千倉ダム) 現地集合  
「水の森」着 10:00 現地に集合(早く来れる方は早い時間に)

**作業内容** 落成まで行います。

- ◆ 周囲の板壁張り ・ 部屋の床板張り
- ◆ カナヅチ、ノコなどをお持ちの方は持参して下さい。(名前記入)
- 15:00 餅まき、落成式典を行います。
- ☆ 「はかた夢松原の会」で野点をやりますので、楽しみにして下さい。
- ☆ 作業できる服装と、水筒などの飲み物を持参ください。 ※ 昼食は準備します。
- ☆ 当日は日田市及びマスコミ関係にも呼びかけます。

雨天時の場合 : 少雨で合い間に出来るくらいは決行。中止の場合は4月16日(金)に連絡します。今回は、当日変更は難しい。

問い合わせ : 「水の森」 事務局長 財津忠幸  
連絡先(自宅) : TEL・FAX 0973-23-2070  
携 帯 : 090-5924-5475  
e-mail : zaitsut @ ruby. ocn. ne. jp



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



## 賛助会員一覧

広報誌「いしたたき」の発行は、主に賛助会員の皆様のご支援により行われています。

青柳インテリア(株)  
 広告制作プロダクション(有)アドゲイツ  
 (有)イサモト土地企画設計  
 (株)諫山工務所  
 石井保険事務所  
 (有)石田工作所  
 井上社会保険労務士事務所  
 (株)インテリア春  
 (有)M&T山本  
 老松酒造(株)  
 J A 大分ひた  
 (有)オガウチ経営サポート  
 (有)小笠原組  
 (有)小関麻袋商店  
 角の井 井上酒造(資)  
 (有)カードクター・フカミ  
 カネサダ横尾木工所(有)  
 日田ビジネスホテル カネセン  
 河津建設(株)  
 川原興業(株)  
 やすらぎと味の宿 亀山亭ホテル  
 (株)九州木材市場  
 九物食品工業(株)  
 グリーンコープ生活協同組合  
 おおいた日田センター  
 クンチョウ酒造(株)  
 (有)コウエイ  
 (有)五島工芸  
 旅館 小松軒  
 医療法人藤和会 近藤歯科  
 坂本機械  
 ㊦佐藤製材所(株)  
 湯遊びと舟遊びの宿 山陽館  
 (有)下徳産業  
 医療法人聖陵会 聖陵岩里病院  
 (株)大日  
 (有)高倉スレート工業  
 (有)寶屋  
 武内歯科医院

田中建設(株)  
 田中社会保険労務士事務所  
 (株)谷組  
 社会福祉法人地の塩会 ひかり保育園  
 社会福祉法人地の塩会 日の隈保育所  
 (株)千原工務店  
 (資)千原電気事業所  
 (有)中央印刷  
 中央ビル管理(株)  
 (有)光岡興業  
 (株)トーケイ  
 (株)中野組  
 五中野製材所  
 (株)ナンブ木材流通  
 (株)光会館  
 日田漁業協同組合  
 日田郡森林組合  
 日田市管工事協同組合  
 日田市森林組合  
 日田自動車工業(株)  
 日田市民生活協同組合  
 (株)日田スレート建材  
 (株)日田中央木材市場  
 (株)日田ビル管理センター  
 日田部品  
 日田木材市場(株)  
 日田木材協同組合  
 不二水道(株)  
 ㊦(有)藤田製材所  
 ホテル ソシア  
 (有)丸記屋  
 三隈川観光開発(株)  
 小京都の湯 みくまホテル  
 みどりパン  
 日田の宿 よろづや  
 リバーサイドホテル 山水館

(50音順)



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。





## 速報！！ ..oO『洗濯キャラバン』10周年記念 Oo..

### 第 1 弾！！ せっけん工場見学会 開催

合成洗剤とせっけんの比較を 2 つの洗濯機で実演で行う「洗濯キャラバン」が、平成 6 年 6 月の高瀬小学校での開催以来、今年で 10 周年を迎えることになりました。その記念事業の第 1 弾として、北九州市の「しゃぼん玉石けん」と、久留米市の「まるは油脂化学」のせっけんメーカーの工場見学会を下記の日程で開催します。

また、第 2 弾以降には、記念講演及び記念シンポジウムも開催予定です。

詳しくは、次号「いしたたき」(洗濯キャラバン特集号)で、お知らせ致します。

日 時 : 4 月 2 6 日 ( 月 )

7 : 3 0 日 田 商 工 会 議 所 出 発

9 : 4 5 北 九 州 市 「 しゃ ぼ ん 玉 石 けん 」 着

1 1 : 5 0 「 しゃ ぼ ん 玉 石 けん 」 出 発

1 2 : 0 0 昼 食 ( 北 九 州 市 内 )

1 3 : 0 0 九 州 自 動 車 道 を 経 由

1 4 : 0 0 久 留 米 市 「 丸 は 油 脂 化 学 」 着

1 6 : 3 0 「 丸 は 油 脂 化 学 」 出 発

1 7 : 3 0 日 田 商 工 会 議 所 着

参加を希望される方は、事務局へお申込下さい。  
多数のご参加をお待ちしています。

## 事務局よりお知らせ

### 会 員 大 募 集

当センターは、「子どもたちに泳げる川を！」をスローガンに、水環境に関心のある個人や団体で構成され、ネットワークを通して、会員それぞれの考えや活動を広く市民や行政などに伝えながら、より良い日田の水環境をつくれるよう活動しています。

環境問題は、1 人や 2 人の努力では決して解決できません。是非、私たちの活動や思いを理解し、「NPO ひた水環境ネットワークセンター」へのご入会をお願い致します。

(個人・団体にかかわらず、入会できます。)

発 行 : N P O ひ た 水 環 境 ネットワークセンター

事務局 : 大分県日田市三本松 2 - 2 - 1 6 日田商工会館 3 F ( 社 ) 日田青年会議所内

TEL : 0 9 7 3 - 2 4 - 7 1 5 0 FAX : 0 9 7 3 - 2 2 - 8 2 6 5

Email : h i t a - j c @ o i t a w e b . n e . j p



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。

